

作成日 2025 年 11 月 05 日
(最終更新日 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号： 2025-1-765

課題名：高輝度放射光施設や組織透明化技術を利用した副腎実質および副腎腫瘍の三次元微細構造解析

1. 研究の対象

副腎腫瘍（疑いを含む）と診断され、2027 年 3 月までに東北大学病院の泌尿器科で副腎摘出術を行った方。

2. 研究期間

2026 年 1 月（研究実施許可日）～2030 年 3 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：2026 年 1 月 15 日

提供開始予定日：該当なし

4. 研究目的

この研究は、副腎の腫瘍やその周りの副腎組織を放射光や組織透明化という最新の技術を用いて三次元的にとっても細かく解析することを目的としています。放射光とは、光の速さまで加速された電子を磁石などで曲げることで生じる非常に明るい光（電磁波）です。病院で使われる一般的な CT などではみえない、はるかに高い解像度で、三次元的に組織を調べることができます。組織透明化も三次元的な解析をするための技術ですが、こちらは薬剤、顕微鏡などと組み合わせることで機能ごとにその三次元分布を調べることができます。

5. 研究方法

- ・本研究は、1 つの施設で行う探索的な観察研究です。
- ・対象となるのは、外科手術で摘出された副腎検体です。そのため、新たに患者さんへ追加の処置や負担が生じることはありません。
- ・これらの組織を高輝度放射光施設で X 線を用いて撮影します。同一または別な組織を組織透明化を用いて観察します。また、CT などの従来の画像検査法とも適宜対比を行います。
- ・検体の処理や画像解析は病理部や医用物理学分野の研究室で行います。適宜通常の 2 次元の病理画像（ヘマトキシリン・エオジン染色や免疫染色）と比較しながら評価を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：摘出副腎

使用薬剤：ホルマリン、エタノール、キシレン、パラフィン、組織透明化用試薬、各種免疫染色用抗体など

情報：病歴、採血結果、CT 画像など

7. 外部への試料・情報の提供

該当しません。

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は科学研究費補助金（科研費）です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

当院における照会先：

担当者の所属・氏名：東北大学病院 放射線診断科 丹内 啓允

住所：仙台市青葉区星陵町 1-1

連絡先：022-717-7312

hiromitsu.tannai.c6@tohoku.ac.jp

当院の研究責任者：東北大学病院 放射線診断科 高瀬圭

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合

- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合